

【ポスターセッション】

精神障害者のきょうだいへの支援に関する文献的検討

—精神障害以外のきょうだいへの支援との比較—

○筑波大学大学院 阪井 宏行 (009068)

名川 勝 (筑波大学・001915)

キーワード：きょうだい支援・精神障害・ソーシャルサポート

1. 研究目的

精神障害とその他の障害（主に自閉スペクトラム症、発達障害、知的障害）のきょうだい当事者への支援（ソーシャルサポート）について、日本の文献の中においてはどのような差異が見られるのかを調べる。また、その差異の理由についても考察を加える。

2. 研究の視点および方法

文献の収集においては論文検索サイト CiNii を使用することとした。論文の検索において、「きょうだい & 支援 & (障害 OR 精神 OR サポート)」という検索式を用いて検索した。検索結果の中には障害者のきょうだいに関連しない研究論文も含まれていたため、題目に「きょうだい」が含まれていない論文は除外した。該当した論文 76 編（2016 年 12 月現在）から、支援内容について言及している記述の抽出を試みた。抽出方法としては、まず本文から「支援」という単語を抜き出し、その前後の具体的な支援内容に触れている文節を取り出した。2 文以上にまたがっている場合は、合わせて一つの記述として扱った。また、直接「支援」という言葉を使用せずに支援内容について言及している可能性も考えられたため、上記に加えて文脈からも具体的な支援内容に触れている文節を探して抜き出し、加えた。

3. 倫理的配慮

使用した文献の取扱いについては、日本社会福祉学会の研究倫理指針 (<http://www.jssw.jp/conf/65/ethics.html>) に準拠して行った。

4. 研究結果

上記の方法に従って抽出したところ、101 の記述（精神障害のきょうだい支援関連 30、精神障害以外のきょうだい支援関連 71）が抽出できた。抽出された部分の前後関係から、実施されている支援を「実際に行われている支援」、きょうだいの意見として述べられている支援を「きょうだいが希望する支援」、論文の著者が今後必要とされると述べた支援を「今後の展望」として区分した。また、それぞれの記述に対して意味内容に基づいて、支援内容を示すラベルを付け、共通するラベルはまとめて一種類とした。

精神障害者のきょうだいへの支援では、「実際に行われている支援」として、「同胞への

支援に関するきょうだいへの情報提供」「きょうだいが行う同胞への支援の分担」「社会資源との結びつけ」「カウンセリング」「きょうだいと同胞との間に入る」などが見られた。「きょうだい希望する支援」では、「きょうだいへの同胞の退院の働きかけ」「同胞への支援の肩代わり」「コミュニケーション機会の提供」などが見られた。「今後の展望」では、「障害に関する情報提供」「支援者に相談できる関係づくり」「きょうだいへの積極的な関わり」などが見られた。

精神障害以外のきょうだいへの支援では、「実際に行われている支援」として、「障害に関する情報提供」「きょうだいが集まる場の提供」「きょうだいの気持ちの受けとめ」「他のきょうだいとの共感」などが見られた。「きょうだい希望する支援」では、「障害に関する情報提供」「きょうだいが集まる場の情報提供」「きょうだいの気持ちの受けとめ」「コミュニケーション機会の提供」「他のきょうだいとの交流」などが見られた。「今後の展望」では、「障害に関する情報提供」「きょうだいが集まる場の情報提供」「きょうだいのための空間の設置」「サービスに関する相談機関」「きょうだいの気持ちの受けとめ」「他のきょうだいとの交流」などが見られた。

5. 考察

今回の研究結果はこれまでの言説の一部をまとめているに過ぎず、我が国におけるきょうだい支援の全体像を捉えているとは言い難い。そのことを踏まえ、文献検索という手法に基づき言い得ることを論じる。

今回の文献的検討の結果から、精神障害者のきょうだいへの支援は、「同胞への支援に関するきょうだいへの情報提供」「きょうだいが行う同胞への支援の分担」「きょうだいへの同胞の退院の働きかけ」「同胞への支援の肩代わり」など、「同胞を支援しているきょうだい」を対象とする支援、もしくはきょうだいを媒介とした同胞（当事者）への支援という側面があると推測された。一方で、精神障害以外のきょうだいへの支援では、「きょうだいが集まる場の提供」「きょうだいの気持ちの受けとめ」「他のきょうだいとの共感」「きょうだいのための空間の設置」など、比較的年齢の低いきょうだいへの支援に関する記述が多く、同胞と共に暮すきょうだいそのものへの支援という側面が強いと思われる。このことから、精神障害者のきょうだいと精神障害以外のきょうだいへの支援の違いの一つとして、支援対象が異なる、すなわち同胞を支援しているきょうだいを支援するのか、同胞と共に暮らしているきょうだいを支援するのかと言う違いがあることが示唆された。

今回の結果から、精神障害以外のきょうだいへの支援と精神障害者のきょうだいへの支援の違いの一つの要因として、対象とするきょうだい像の違いが想定できたが、より多くの先行研究を分析することで他の要因を明らかにすることが出来るだろう。今回のような文献収集、検討を定期的に行い、今後文献が増えていく中で、更に検討を重ねていく必要がある。